

第5回江南市下水道事業経営戦略策定委員会 議事録（概要）

会議名 : 第5回江南市下水道事業経営戦略策定委員会

開催日時 : 令和2年8月4日（火） 午後2時～午後3時30分

場所 : 江南市役所 3階 第2委員会室

委員 : 出席委員6名（欠席1名）

横山 幸司（学識経験者）

奥村 真也（学識経験者）

浅野 敏夫（各種団体）

柴田 喜充（各種団体）

大脇 勇（公募市民）

古田 みちよ（公募市民）

（欠席）小川 隆史（各種団体）

事務局 : 古田（水道部長）

伊藤（下水道課長）

吉本（下水道課主幹）

柴垣（下水道課計画工務グループリーダー）

青山（下水道課雨水排水グループリーダー）

大池（下水道課業務・経営グループリーダー）

平山（下水道課業務・経営グループ）

資料

資料1 下水道使用料改定案の見直しについて

資料2 江南市下水道事業経営戦略（案）

（参考） 経営戦略用語集（案）

議題

1. 下水道使用料改定案の見直しについて
2. 江南市下水道事業経営戦略（案）について

1. 下水道使用料改定案の見直しについて

- 会 長： 前回委員会で挙げた意見を踏まえ、見直した下水道使用料改定案の詳細について、事務局より説明いただきたい。
- 事務局： ～ 資料について説明 ～
- 委 員： 浄化槽の維持管理費を約50,000円／年と積算して下水道使用料との比較を行っているが高額ではないか。江南市の実態とかい離していると思われるため、改めて数値について調査いただきたい。
- 事務局： 国や愛知県が調査した結果を参照して記載している。
- 委 員： 料金改定時期を令和8年度ではなく、令和9年度からに変更しているのはなぜか。
- 事務局： 水道料金の改定が令和7年度に予定されており、市民負担の観点から数年空けたいと考えているためである。
- 委 員： 使用料の改定による高資本費対策に要する経費を活用すれば、基準内繰入金として一般会計から借り入れられるのなら、1年でも早く使用料を改定すべきではないか。
- 事務局： 経営的には早期の使用料改定が望ましいため、前倒して令和8年度の改定も考えられる。

2. 江南市下水道事業経営戦略（案）について

- 会 長： 見直した下水道使用料改定案を踏まえて作成した下水道事業経営戦略（案）について、事務局より説明いただきたい。
- 事務局： ～ 資料について説明 ～
- 委 員： 高資本費対策に要する経費を活用できるのは令和13年度までのため、令和14年度以降は赤字となり再び基準外繰入金が発生するという事か。それなら長期を見据えた経営シミュレーションが必要だと思うが、本経営戦略（案）は令和12年度までの10年間の計画としているため、期間内の数値が改善できていれば大丈夫という理解でよいか。

- 事務局： 令和14年度以降に発生する赤字は、使用料の改定などで対応する必要があるが、詳細は、10年後の次期経営戦略の策定までに検討したいと考えている。
- 委員： 技術の継承と記載があるが、技術とは何を指すのか。
- 事務局： 工事等に係るノウハウのことである。職員の異動時にも円滑に下水道の整備が進むよう、ノウハウを継承させる必要があるため記載している。
- 委員： 水洗化率はどのように向上させるのか。
- 事務局： 各団体がさまざまな手法を行っているため、全国的な事例を踏まえて、今回の計画書に記載した加入促進への取り組みを強化するなど進めていく。
- 委員： 不明水とはなにか。
- 事務局： 下水道管のつなぎ目等から流入する地下水等のことで、江南市は比較的新しい設備のため不明水は少ないが、老朽化している設備を持つ団体は不明水が多い。不明水の流入分も五条川右岸流域下水道の維持管理費負担金に含めて支払う必要があり、不明水の負担割合は不明水を除いた汚水量に応じて比例するため、流域全体で不明水が削減できるよう流域の構成市町に不明水の削減を依頼していく予定である。
- 委員： 経費削減についていろいろ書かれているが、以前話のあった流域下水道の建設事業費負担金の削減についても、ぜひ努力してほしい。
- 事務局： 昨年度から流域下水道の構成市町と負担金額の削減に対する協議を進めており、概ね理解をいただけた。引き続き、実施可能時期など削減に向けた調整を続けていく。
- 委員： 職員の削減を検討しているが、どの程度を見込んでいるのか。
- 事務局： 現在の整備が進むと残整備面積が縮小されていくため、工事規模に合わせた体制にする予定である。そのため、経験者を残しながら、段階的に1～2名の削減を検討している。

- 委員：昔と比較すると下水道工事のやり方に変化があると思われる。工法により経費が変わると思われるが、どのような方針で工事を実施しているのか。
- 事務局：安全対策については昔より強化しつつ、コスト削減の方法を検討して実施している。
- 委員：急激な使用料の値上げは市民にとって非常に負担になると思うので、今回の段階的な料金改定案については、よかったと感じている。水洗化率の向上に向け、早急に計画を練ってほしい。
- 事務局：検討したい。
- 委員：水洗化率向上に向け、経済的に接続が難しい方に対して令和5年ごろまでには何か実施しなくてはならないと感じている。また、市としては、多くの使用料収入が見込める大企業や大型施設等に接続いただけるよう、努力してほしい。
- 事務局：江南市には企業が少ない状況ではあるが、企業を含め大規模事業者には接続を求めていく。
- 会長：他団体の事例では、市の職員が接続に向けた営業を企業等へ実施している。大変だと思うが、できる限り努力いただきたい。
- 事務局：現在も実施しているが、今後も引き続き努めていきたい。

3. その他

今後の予定について

- 事務局：次回の委員会は11月上旬に開催を予定している。次回は1月に実施を予定しているパブリックコメントへ諮るため、経営戦略（案）の内容を固めたいと考えている。